

● 文法の指導法

- ① まず、学習者に以下の問題用紙を配布し、解答させる。 **正答：赤字**
- ② 解答を発表し、答えを間違った学習者がいた場合は文法の指導をする。
- ③ 学習者全員が正答を把握していることを確認したら、次にハッキリと聞こえなくて自信がない語句があった場合は、文法知識を活用することで、どのような語が発話されていたのかを補うことは可能であることを指導する。

学習者に「リスニングというものは、単純に音声に頼るものばかりではなく、『文法』というストラテジーを活用することで乗り越えられることもある」と指導することが重要です。

---

以下の英文を読み、(            )内の語のうち、正しいものに○をつけましょう。

1. This expression is (use/**used**) to (**show**/showed) that there is a wide variety of (thing/**things**) to see, do or choose from.
  2. Have you (see/**seen**) this film before?
  3. Are you (feel/**feeling**) OK?
  4. He didn't (**grasp**/grasps) the concept at all.
  5. Did he really (said/**say**) such things?
-